



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場会社名 小津産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7487 URL <http://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中田 範三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 稲葉 敏和

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	9,370	2.4	119	133.9	122	114.3	120	770.4
23年5月期第1四半期	9,148	△12.0	51	7.4	56	△11.9	13	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 129百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	14.43	—
23年5月期第1四半期	1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	18,469	10,618	57.5
23年5月期	18,404	10,572	57.4

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 10,618百万円 23年5月期 10,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	—	—	10.00	10.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,900	3.7	220	—	250	—	160	—	19.13
通期	37,400	3.3	350	—	390	—	250	—	29.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	8,435,225 株	23年5月期	8,435,225 株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	69,838 株	23年5月期	69,824 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	8,365,396 株	23年5月期1Q	8,365,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年 3 月に発生した東日本大震災の影響により停滞を余儀なくされましたが、サプライチェーンの正常化も進み、生産活動も持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の金融不安や米国の景気停滞懸念の高まりのほか、それらに伴う円高の進行や株価の下落もあり、国内の景気全体の先行きについても不透明感が強まってまいりました。

このような状況のもと、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）といたしましては、引き続き市場ニーズに迅速に対応した高付加価値商品の提供を推進し、新製品の開発やグローバルな視点での新規市場開拓に努めてまいりました。

この結果、当第 1 四半期連結累計期間の売上高は93億70百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益は 1 億22百万円（前年同期比114.3%増）、四半期純利益は 1 億20百万円（前年同期比770.4%増）となりました。

当第 1 四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

【不織布事業】

国内につきましては、東日本大震災の影響による国内産業の稼働率低下に伴う不織布製品の需要の落ち込みや、印刷業界・出版業界における洋紙の需要低迷などにより、売上高は低調に推移しました。海外につきましては、円高の影響等により前年同期に比べ粗利率は低下しましたが、光学機器メーカーやエレクトロニクス産業の稼働率が回復基調にあり、総じて堅調に推移しました。また、国内・海外ともに販売費が減少したこともあり、営業利益は増益となりました。

また、連結子会社の日本プラントシーダー(株)が担うアグリ分野では、福島第一原子力発電所の事故に伴う風評被害等による近隣地域での作付け減少の影響はあったものの、北東北、北海道地方においては好調であり、また、海外向けも好調を維持しており、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は27億69百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は 1 億26百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

【家庭紙・日用雑貨事業】

連結子会社のアズフィット(株)が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、依然としてトイレットペーパーやティッシュペーパーの価格が低迷しており苦しい状況が続いておりますが、東日本大震災直後の消費者の買いだめによる販売数量の増加等により売上高は増加しました。また、前連結会計年度より行っている物流センター統廃合等の効率化により、販売費の削減が進んでまいりました。これらの結果、売上高は65億81百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント損失は 0 百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

【その他の事業】

その他の事業につきましては、賃貸不動産のテナント減少等により、売上高は18百万円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益は 2 百万円（前年同期は 6 百万円のセグメント損失）となりました。

なお、屋内型水耕栽培設備による野菜の生産・販売を行う「日本橋やさい」事業につきましては、平成23年 9 月をもって工場の稼働を停止いたしました。

注) 連結子会社の日本プラントシーダー(株)およびアズフィット(株)の決算期は 2 月末日のため、当第 1 四半期連結累計期間には各社の平成23年 3 月から同年 5 月の実績が反映されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて64百万円増加し、184億69百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加 2 億23百万円、「建物及び構築物（純額）」の減少37百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、78億51百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加80百万円、「未払法人税等」の減少37百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて45百万円増加し、106億18百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加37百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年 7 月15日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321,095	3,357,799
受取手形及び売掛金	5,843,410	6,067,377
有価証券	101,951	101,972
商品及び製品	1,169,480	1,263,535
原材料	241,649	240,598
繰延税金資産	75,825	51,017
その他	731,463	544,084
貸倒引当金	△7,094	△9,373
流動資産合計	11,477,782	11,617,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,418,864	5,411,556
減価償却累計額	△3,091,303	△3,121,803
建物及び構築物(純額)	2,327,561	2,289,753
機械装置及び運搬具	384,724	384,762
減価償却累計額	△324,759	△328,379
機械装置及び運搬具(純額)	59,964	56,383
土地	1,760,344	1,736,444
リース資産	3,450	3,450
減価償却累計額	△1,437	△1,610
リース資産(純額)	2,012	1,840
その他	141,737	142,050
減価償却累計額	△112,367	△111,467
その他(純額)	29,370	30,582
有形固定資産合計	4,179,253	4,115,004
無形固定資産		
のれん	154,391	143,363
リース資産	48,160	42,322
その他	121,655	114,492
無形固定資産合計	324,206	300,178
投資その他の資産		
投資有価証券	1,723,466	1,769,133
長期貸付金	34,616	35,869
繰延税金資産	21,481	21,618
その他	672,596	639,203
貸倒引当金	△28,516	△28,214
投資その他の資産合計	2,423,644	2,437,610
固定資産合計	6,927,105	6,852,793
資産合計	18,404,887	18,469,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,729,564	3,810,380
短期借入金	900,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	605,989	602,481
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
リース債務	24,548	24,680
未払法人税等	75,155	38,133
賞与引当金	48,865	102,471
役員賞与引当金	1,520	—
その他	621,169	534,132
流動負債合計	6,506,812	6,532,279
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	27,341	21,122
繰延税金負債	237,725	244,239
退職給付引当金	71,976	72,716
役員退職慰労引当金	83,420	85,477
その他	55,223	45,940
固定負債合計	1,325,687	1,319,496
負債合計	7,832,500	7,851,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,374,967	1,374,967
利益剰余金	7,691,036	7,728,111
自己株式	△82,200	△82,214
株主資本合計	10,306,017	10,343,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266,369	274,949
その他の包括利益累計額合計	266,369	274,949
純資産合計	10,572,387	10,618,028
負債純資産合計	18,404,887	18,469,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	9,148,005	9,370,117
売上原価	7,596,604	7,845,227
売上総利益	1,551,400	1,524,889
販売費及び一般管理費	1,500,200	1,405,152
営業利益	51,200	119,736
営業外収益		
受取利息	932	722
受取配当金	28,144	17,837
仕入割引	5,902	10,519
持分法による投資利益	643	17
その他	4,204	12,957
営業外収益合計	39,827	42,054
営業外費用		
支払利息	11,008	9,242
売上割引	826	766
為替差損	21,488	23,506
その他	754	6,257
営業外費用合計	34,078	39,772
経常利益	56,949	122,018
特別利益		
固定資産売却益	—	30
貸倒引当金戻入額	464	—
保険戻戻金	—	27,462
受取保険金	—	33,542
その他	—	1,067
特別利益合計	464	62,102
特別損失		
固定資産除却損	7,525	70
投資有価証券評価損	13,365	—
災害による損失	—	3,359
その他	450	160
特別損失合計	21,340	3,589
税金等調整前四半期純利益	36,073	180,531
法人税、住民税及び事業税	16,856	35,561
法人税等調整額	5,346	24,240
法人税等合計	22,203	59,802
少数株主損益調整前四半期純利益	13,870	120,729
少数株主利益	—	—
四半期純利益	13,870	120,729

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,870	120,729
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△7,023	8,579
その他の包括利益合計	△7,023	8,579
四半期包括利益	6,846	129,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,846	129,308
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,890,516	6,235,901	9,126,417	21,587	9,148,005	—	9,148,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	23,805	4,134	27,940	37,647	65,587	△65,587	—
計	2,914,322	6,240,035	9,154,357	59,234	9,213,592	△65,587	9,148,005
セグメント利益又は損失(△)	87,673	△21,673	65,999	△6,334	59,665	△8,464	51,200

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額8,464千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,769,541	6,581,594	9,351,135	18,982	9,370,117	—	9,370,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,134	2,798	7,933	35,655	43,588	△43,588	—
計	2,774,675	6,584,392	9,359,068	54,637	9,413,706	△43,588	9,370,117
セグメント利益又は損失(△)	126,614	△112	126,501	2,295	128,797	△9,060	119,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本橋やさい事業、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額9,060千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。